

教えて！ ドクター Q&A

(株)宣通 (052) 979-1600 広告

Q 糖尿病の合併症について教えてください。軽度の糖尿病ですが、これから気を付けることがありますか。



A 糖尿病の合併症には、高度のインスリン作用不足によつて起つる急性合併症と、長年の高血糖によつて起つる慢性合併症とがあります。急性合併症には高血糖、高ケトン血症、アシドーシスをきたした糖尿病ケトアシドーシスと、著しい高血糖と高度な脱水による高浸透圧血症により循環不全をきたした高血糖高浸透圧症候群とがあります。両者とも専門医のいる医療機関へ移送して治療する必要があります。

慢性合併症は持続する高血糖、脂質異常などの代



院長 早瀬 修平
(はやせ希望クリニック)

名古屋大学大学院医学研究科修了。医学博士。米国ニューヨーク市Francis Delafield Hospital、Harlem Hospital Center外科レジデント。ミネソタ州Mayo Clinic胸部心臓血管外科留学。金沢医科大学心臓血管外科講師、名古屋大学胸部外科助手、名古屋第一赤十字病院胸部外科部長。1997年4月より現職。

謝異常と、高血圧による血管内皮障害によつて起こる全身の血管を中心とした組織の変性、機能喪失であります。細小血管症である網膜症、腎症および神経障害と、大血管症である冠動脈疾患、脳血管障害そして末梢動脈疾患に分類される。さらに糖尿病足病変もあります。いずれも機能予後や生命予後に関わるので、これらへの対策が重要であります。予防策は糖尿病の早期発見と適切かつ継続的な治療であります。特に大血管症は、糖尿病発症の10年も前から、すなわち耐糖能異常のときから発症し進展するとされています。したがつて、耐糖能異常の状態から適切な食事指導や運動療法がなさるべきです。